

平成29年度事業報告実績及び附属明細書

本県の大家畜の畜産振興を図るため、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、協会は指定管理者として基本協定に基づく業務を忠実に実施し、関係する技術等の研さんを行い事業目的の達成に努めた。その実績は次のとおりである。

1) 八ヶ岳牧場管理受託業務

(1) 県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却業務

〔表－1〕のとおり、系統的に選抜された優良な県有肉用繁殖牛を本場で飼養・計画交配を行い、これらの母牛から生産された子牛を育成した。

また、その一部を更新牛として保留するほかは〔表－2〕のとおり、県内の肉用牛振興地域の農協等に売却、本県の畜産振興に寄与した。

〔表－1〕 県有肉用牛の飼養及び生産・売却頭数

区分性別	動物（成牛）頭数								生産物（子牛・育成牛）頭数							
	前年度より	生産物区分から	導入	廃用	売却	保転	死亡	計	前年度より	出生	動物区分へ	売却	廃用	保転	死亡	計
雌	195	28		△14	△11		△2	196	103	80	△28	△62				93
雄									58	99					△2	69
去勢	0							0				△86				
計	195	28	0	△14	△11		△2	196	161	179	△28	△148	0	0	△2	162

〔表－2〕 農協別売却頭数

区分	梨 北							笛 吹		こま野		中巨摩東部	合計	
	小淵沢	高根	清里	穂坂	白州	双葉	葦崎市	八代	中道北	野々瀬	南湖			
H29年度	妊娠牛	0	1	8	0	3		1	1	1	0	0	0	15
	育成雌牛	2	7	6	13	3		5	5	6	1	8	2	58
	去勢牛	1	10	16	17	5		17	4	8	3	0	5	86
	計	3	18	30	30	11		23	10	15	4	8	7	159

(2) 農家等が保有する家畜の受託業務

〔表－3〕のとおり天女山分場を中心に夏期預託を（5/1～10/31）、本場預託牛舎で冬期預託4/1～4/30・11/1～3/31）を行い、農家等が保有する乳用牛・肉用牛の受託管理を行った。同期間における受託家畜の発育は良好で疾病の発生も少なく、農家経営の安定に寄与した。

[表-3] 家畜の受託頭数

区 分	受託頭数			
	乳用牛	肉用牛	馬	計
実頭数	428	249	0	677
延頭数	89,156	34,031	0	123,187

(3) 草地等の維持管理業務

[表-4] のとおり、本場並びに分場の草地に対し、計画的に肥料散布を行い、[表-5] のとおり良質な牧草を生産するとともに、冬期用貯蔵飼料(サイレージ、乾草)の生産を行った。

また、草地内の雑草の防除、除石、牧道やシカ柵の補修整備等を随時行うとともに、車両・農機具の点検整備を行い、草地並びに車両・農機具等の保安全管理に努めた。

[表-4] 肥料散布量

肥料散布面積と施肥量			
区 分	放牧地	採草地	計
散布面積	244.8ha	73.4ha	318.2ha
施 肥 量	牧草地用複合肥料 1	131.7 t	182.1 t
	牧草地用複合肥料 2	50.4 t	
	粒状炭酸苦土石灰	55.5 t	43.8 t

※1 牧草地用複合肥料1：高度化成肥料 牧草地用複合肥料2：緩効性肥料混合高度化成肥料

※2 粒状炭酸苦土石灰：草地面積を2分割隔年散布

[表-5] 牧草生産量

牧草生産量(生草換算：t)					
区分	放牧地	採草地			合計
		サイレージ用	乾草用	計	
生産量	5,516	2,768	-	2,768	8,284

(4) 農家の巡回調査指導業務

当牧場への預託牛飼養農家及び当牧場からの売却牛飼養農家58戸、669頭について、[表-6]

のとおり随時巡回して、その発育状況と繁殖状況等を調査し、飼養・繁殖管理技術に係る指導を行った。

[表-6] 農家巡回戸数

地区別巡回戸数と頭数								
区 分	梨北農協	県酪農協	笛吹農協	外ハ農協	中巨摩東部	こま野	その他	合計
戸 数	29	2	4	16	3	4		58
頭 数	肉 牛	168	3	44	8	8	10	241
	乳 牛	105	24		299			428

(5) 受精卵移植普及定着化業務

メインセンター（畜産酪農技術センター）が、優良肉用牛の受精卵を農家に供給するために必要な供卵牛（受精卵を採取する牛）を、サブセンターとして提供（平成29年度実績延べ15頭）するとともに県有牛・預託牛に受精卵移植を行い高品質な和牛生産を行った。

(6) 家畜ふん尿堆肥化処理業務

まきばの郷整備事業により牧場内に整備された家畜ふん尿処理施設を活用し、牧場・馬事振興センター及び北杜市小淵沢町内から排出される家畜糞尿の処理〔表-7〕を行った。

〔表-7〕堆肥化処理量

家畜糞尿搬入量と製品堆肥搬出量				
区分	八ヶ岳牧場	馬事振興センター	小淵沢町有機物流通組合	合計
糞尿搬入量	4,678m ³	824m ³	3,281m ³	8,783m ³
堆肥搬出量	2,404m ³	398m ³	1,484m ³	4,286m ³

(7) その他の業務

ア フェスタまきばの開催

畜産に対する理解を深め、県産畜産物の消費者へのPRの場として、10月1日（日）北杜市大泉町のまきば公園内において「2017フェスタまきば」を開催した。

イ 畜産経営技術指導等

県内の酪農家、肉用牛農家を巡回し、八ヶ岳牧場に対する要望・意見等を聴取するとともに畜産経営に関する助言、指導を行った。

ウ 職員研修等

協会職員の資質の向上を図るため、職員派遣研修、畜産専門研修等への参加を推進するほか、職務上必要とされる各種免許・資格等の取得に努めた。

2) まきば公園管理受託業務

4月20日（木）に開園し、11月12日（日）までの開園期間中に244千人〔表-8〕が来園し、来園者の応接対応と1,010団体に対する研修・案内を行った。

また、公園施設の保守管理、植栽・草地の維持管理を行うとともに、ふれあい動物の飼養管理及びめん羊の増殖管理を行った。

〔表-8〕来園者数

月	開園日数	推定入園車両数	推定入園者数	車両/日	入園者/日	予約団体
	日	台	人	台	人	
4月	10	2,730	7,440	273	744	21
5月	27	13,470	38,910	499	1,441	91
6月	26	6,020	23,430	232	901	149
7月	28	10,680	34,240	381	1,223	165
8月	30	19,880	56,210	663	1,874	142
9月	26	9,610	31,430	370	1,209	172
10月	26	6,190	39,710	238	1,527	212
11月	11	4,460	13,340	405	1,213	58
合計	84	73,040	244,710	397	1,330	1,010

(1) めん羊増殖等の業務

まきば公園内の動物ふれあい施設並びに冬期飼養施設において、サフォーク種の増殖を行い、平成29年度においては雌18頭、雄10頭の子めん羊を生産し育成管理を行った。〔表-9〕

〔表-9〕 県有緬羊の飼養及び生産・売却頭数

区分 性別	動物（成めん羊）頭数						生産物（子・育成めん羊）頭数						合 計
	前 年度 より	生 産 物 区 分 か 替 ら	売 却	廃 用	死 亡	計	生 産	動 物 区 分 替	売 却	廃 用	死 亡	計	
雌	32	16	△13			35	18	△16			△2	0	35
雄	8	10	△5		△3	10	10	△10				0	10
計	40	26	△18		△3	45	28	△26			△2	0	45

(2) まきば公園体験教室

フェルト教室	(開催回数: 7回)	参加人数 171名)
きのこ教室	(開催回数: 1回)	参加人数 17名)
めん羊毛刈り体験実習	(開催回数: 3回)	参加人数 29名)
まきばウオーク	(開催回数: 4回)	参加人数 26名)
工作・焼き絵教室	(開催回数: 80回)	参加人数 2,838名)
山菜教室	(開催回数: 1回)	参加人数 7名)

3) 死亡牛焼却処理業務

県が行う牛海綿状脳症（BSE）検査後の死亡牛の受け入れ及び焼却処理業務を行った。〔表-10〕

〔表-10〕 死亡牛売却頭数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
処理頭数	8	5	7	8	10	10	8	4	11	11	3	6	91

3. 附属明細書（事業報告関係）

平成29年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。